



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 レンゴー株式会社
 コード番号 3941 URL <http://www.rengo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

上場取引所 東

(氏名) 大坪 清
 (役職名) 取締役兼執行役員
 問合せ先責任者 経理本部長兼財務・IR部長

(氏名) 岡野 幸男

TEL 06-6223-2371

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	295,391	9.2	7,082	△48.4	8,009	△43.0	4,001	△54.2
29年3月期第2四半期	270,549	1.8	13,724	135.2	14,061	120.1	8,729	149.1

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 7,270百万円 (807.6%) 29年3月期第2四半期 801百万円 (△50.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	16.16	—
29年3月期第2四半期	35.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	728,451	247,836	32.9
29年3月期	704,826	241,510	33.2

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 239,724百万円 29年3月期 234,241百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
30年3月期	—	6.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	608,000	11.5	17,000	△28.1	18,500	△26.6	10,500	△24.3	42.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	271,056,029 株	29年3月期	271,056,029 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	23,460,205 株	29年3月期	23,458,037 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	247,596,844 株	29年3月期2Q	247,605,996 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、世界経済の回復を背景として企業収益は堅調に推移するとともに、雇用・所得環境の改善、個人消費や設備投資の持ち直しにより緩やかな回復基調が続きました。

このような経済環境の中で、板紙業界におきましては、段ボール原紙の旺盛な需要に加えて、輸出も大きく伸長したことから、生産量は前年を上回りました。

段ボール業界におきましては、引き続き通販向けが伸びたほか、食品をはじめ電気・機械器具や日用品も好調に推移し、生産量は前年を上回りました。

紙器業界におきましては、堅調な食品向けに支えられ、生産量は前年を上回りました。

軟包装業界におきましては、食品や日用品向けの底堅い需要に支えられ、生産量は前年を上回りました。

重包装業界におきましては、原子力発電所事故関連の除染用コンテナバッグの減少により、生産量は前年を下回りました。

以上のような状況の下で、当社グループは、「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」=GPIレンゴーとして、製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外の6つのコア事業を中心に、あらゆる産業の全ての包装ニーズに対して総合的なソリューションを提案する企業グループとしての事業基盤をさらに強固なものとするべく、パッケージングのイノベーションによる営業力強化、積極的な設備投資やM&A、事業環境変化への素早い対応等を通じ、業容拡大と収益力向上に鋭意取り組んでまいりました。

“Less is more.”を掲げ、より少ない資源で大きな価値を生むパッケージづくりを基本として、流通現場における開封・陳列などの作業効率を飛躍的に向上させる新しい段ボール包装「レンゴースマート・ディスプレイ・パッケージング(RSDP)」の開発をさらに推進するとともに、昨年ワールドスター賞を受賞したワンタッチ組立て販促仕器「ラクッパ ディスプレイ」に続き、「ラクッパ」シリーズのラインアップを拡充するなど、人手不足をはじめとする社会的課題の解決も念頭に、革新的な製品の開発と積極的なプロモーションを展開しました。

また、段ボール原紙の主原料である古紙の高騰や、燃料、薬品、物流経費等の上昇に対し、徹底したコストダウンにより製品価格の維持に努めてまいりましたが、当社単独の努力では抗し難い状況となったため、本年8月出荷分からの段ボール原紙をはじめとする板紙製品、10月出荷分からの段ボール製品のそれぞれ価格改定に取り組みました。

なお、本年10月、金津工場(福井県あわら市)において、段ボール原紙生産体制再構築の一環である抄紙機のライナ原紙併抄化改造工事が完了し、営業運転を開始しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は295,391百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益は7,082百万円(同48.4%減)、経常利益は8,009百万円(同43.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,001百万円(同54.2%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は、次のとおりであります。

[板紙・紙加工関連事業]

板紙・紙加工関連事業につきましては、販売量は増加しましたが、古紙価格の高騰により、増収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は195,779百万円(同3.0%増)、営業利益は2,116百万円(同75.1%減)となりました。

[軟包装関連事業]

軟包装関連事業につきましては、売上高は前年並みとなったものの、材料費や固定費の増加により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は33,802百万円(同0.6%増)、営業利益は2,101百万円(同24.2%減)となりました。

[重包装関連事業]

重包装関連事業につきましては、除染用コンテナバッグの需要が減少したことにより、減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は19,694百万円(同2.0%減)、営業利益は914百万円(同33.4%減)となりました。

[海外関連事業]

海外関連事業につきましては、連結子会社となったトライウォール・ホールディングス社の業績が寄与したことに加えて、段ボール事業が好調に推移したことにより、増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は29,980百万円(同156.7%増)、営業利益は1,094百万円(同381.9%増)となりました。

[その他の事業]

その他の事業につきましては、不織布の需要増はありましたが、運送事業の採算悪化により、増収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は16,134百万円(同6.6%増)、営業利益は766百万円(同6.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に売上債権の増加や株価の上昇による投資有価証券の増加により、728,451百万円となり、前連結会計年度末に比べ23,625百万円増加しました。

負債は、主に仕入債務の増加により、480,614百万円となり、前連結会計年度末に比べ17,298百万円増加しました。

純資産は、主に株価の上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加により、247,836百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,326百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は32.9%となり、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表した業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成29年10月31日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(単位：百万円 %)

	平成29年3月期	平成30年3月期 予想	前年比
売上高	545,489	608,000	+11.5
営業利益	23,642	17,000	△28.1
経常利益	25,214	18,500	△26.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,876	10,500	△24.3
1株当たり 当期純利益	56円04銭	42円41銭	△13円63銭
設備投資額	30,445	43,500	+42.9
減価償却費	29,524	31,500	+6.7

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,402	24,386
受取手形及び売掛金	163,128	176,427
商品及び製品	20,100	21,968
仕掛品	2,680	3,027
原材料及び貯蔵品	17,055	19,096
繰延税金資産	3,675	3,743
その他	6,608	6,582
貸倒引当金	△630	△696
流動資産合計	241,021	254,535
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	222,746	225,975
減価償却累計額	△140,018	△142,136
建物及び構築物(純額)	82,728	83,839
機械装置及び運搬具	456,286	460,424
減価償却累計額	△362,161	△366,747
機械装置及び運搬具(純額)	94,124	93,677
土地	109,674	108,527
建設仮勘定	4,952	10,825
その他	29,813	29,364
減価償却累計額	△21,181	△20,818
その他(純額)	8,631	8,545
有形固定資産合計	300,111	305,413
無形固定資産		
のれん	11,530	10,634
その他	14,265	13,773
無形固定資産合計	25,796	24,408
投資その他の資産		
投資有価証券	116,289	123,832
長期貸付金	1,091	1,139
退職給付に係る資産	2,464	2,562
繰延税金資産	878	781
その他	18,243	16,881
貸倒引当金	△1,069	△1,102
投資その他の資産合計	137,897	144,094
固定資産合計	463,805	473,916
資産合計	704,826	728,451

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	95,166	109,151
短期借入金	117,416	129,382
1年内償還予定の社債	30	5,030
未払費用	20,962	23,248
未払法人税等	5,933	3,151
役員賞与引当金	175	-
その他	25,626	21,955
流動負債合計	265,310	291,918
固定負債		
社債	55,035	50,020
長期借入金	103,938	98,412
繰延税金負債	17,763	19,607
役員退職慰労引当金	1,013	892
退職給付に係る負債	12,669	12,698
その他	7,585	7,064
固定負債合計	198,005	188,695
負債合計	463,316	480,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,066	31,066
資本剰余金	34,290	34,263
利益剰余金	141,527	144,090
自己株式	△11,936	△11,937
株主資本合計	194,948	197,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,911	32,696
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	9,832	8,072
退職給付に係る調整累計額	1,550	1,472
その他の包括利益累計額合計	39,293	42,241
非支配株主持分	7,268	8,112
純資産合計	241,510	247,836
負債純資産合計	704,826	728,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	270,549	295,391
売上原価	220,029	247,785
売上総利益	50,520	47,605
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	8,033	9,160
給料及び手当	11,028	11,814
のれん償却額	606	812
その他	17,127	18,736
販売費及び一般管理費合計	36,795	40,523
営業利益	13,724	7,082
営業外収益		
受取利息	187	193
受取配当金	911	922
負ののれん償却額	22	22
持分法による投資利益	606	909
その他	932	887
営業外収益合計	2,660	2,935
営業外費用		
支払利息	759	814
その他	1,563	1,193
営業外費用合計	2,323	2,007
経常利益	14,061	8,009
特別利益		
受取保険金	0	294
固定資産売却益	93	174
その他	19	8
特別利益合計	114	477
特別損失		
事業構造改善費用	-	538
固定資産除売却損	206	427
その他	458	399
特別損失合計	665	1,366
税金等調整前四半期純利益	13,510	7,120
法人税、住民税及び事業税	4,829	2,919
法人税等調整額	△422	△157
法人税等合計	4,407	2,762
四半期純利益	9,102	4,358
非支配株主に帰属する四半期純利益	373	356
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,729	4,001

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	9,102	4,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	588	4,819
繰延ヘッジ損益	△343	0
為替換算調整勘定	△4,440	△1,214
退職給付に係る調整額	14	△82
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,119	△609
その他の包括利益合計	△8,300	2,912
四半期包括利益	801	7,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	709	6,898
非支配株主に係る四半期包括利益	92	372

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

	報告セグメント					その他 ※1 (百万円)	調整額 ※2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 ※3 (百万円)
	板紙・ 紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	重包装 関連事業 (百万円)	海外 関連事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高								
外部顧客 への売上高	190,026	33,610	20,102	11,680	255,420	15,129	—	270,549
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	657	43	392	1,865	2,957	11,665	△14,622	—
計	190,683	33,654	20,494	13,545	258,378	26,794	△14,622	270,549
セグメント利益	8,481	2,773	1,372	227	12,854	822	47	13,724

※1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内における不織布、紙器機械の製造・販売、運送事業、保険代理業、リース業および不動産業を含んでおります。

※2 セグメント利益の調整額47百万円は、セグメント間取引消去であります。

※3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

	報告セグメント					その他 ※1 (百万円)	調整額 ※2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 ※3 (百万円)
	板紙・ 紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	重包装 関連事業 (百万円)	海外 関連事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高								
外部顧客 への売上高	195,779	33,802	19,694	29,980	279,256	16,134	—	295,391
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	889	119	1,037	2,176	4,223	12,387	△16,611	—
計	196,668	33,922	20,732	32,157	283,480	28,522	△16,611	295,391
セグメント利益	2,116	2,101	914	1,094	6,227	766	88	7,082

※1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内における不織布、紙器機械の製造・販売、運送事業、保険代理業、リース業および不動産業を含んでおります。

※2 セグメント利益の調整額88百万円は、セグメント間取引消去であります。

※3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。